

2009 年度 小委員会活動成果報告

(2010 年 2 月 8 日作成)

小委員会名	パイルドラフト基礎の設計法検討小委員会		主 査 名：土屋 勉 就任年月：2009 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (基礎構造運営委員会)		委員長名：中島 正愛 主 査 名：中井 正一
設 置 期 間	2009 年 4 月 ～ 2012 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基礎指針改定を見据えたパイルド・ラフト基礎の設計方法の検討 ・ 1 年目：現行指針の課題とパイルド・ラフト基礎に関する現状把握 ・ 2 年目：簡易法を中心とした具体の設計方法の検討 ・ 3 年目：パイルド・ラフト基礎の設計法の提案（報告書の他、PD 開催など） 		
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：公募無し		
	土屋勉 (室蘭工大)、山本春行 (広島大)、山崎雅弘 (岡山理科大)、松尾雅夫 (安井建築設計)、山下清 (竹中工務店)、金子治 (戸田建設)、眞野英之 (清水建設)、佐原守 (大林組)、長尾俊昌 (大成建設)		
設置 WG (WG 名：目的)	パイルド・ラフト基礎の設計法 (鉛直) WG：パイルド・ラフト基礎の鉛直問題 (支持力・沈下) に関する設計法の検討 パイルド・ラフト基礎の設計法 (水平) WG：パイルド・ラフト基礎の水平抵抗に関する設計法の検討		
2009 年度予算	840,000 円	ホームページ公開の有無：小委員会ホームページ無 委員会 HP アドレス：無	

項 目	自己評価
委員会開催数	5 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 予定通り小委員会 5 回開催。 2. 鉛直・水平 WG を設置。 3. 同日に連続して WG を開催しており、出席率も高く当初の予定通り進捗している (鉛直 WG 4 回・水平 WG 4 回)。
委員会活動の問題点・課題	1. 来年度は具体の設計方法の検討に入るのので、両WGに設計実務経験者の追加を考えたい。